令和８年９月２８日

第６学年保護者　様

加古川市立神野小学校
校長　　稲田暁彦

令和８年度　神野小学校　全国学力・学習状況調査の結果について

秋晴の候、保護者の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申しあげます。

平素は、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、先日お返ししました全国学力・学習状況調査の結果ついて、本校の分析結果と今後の取り組みについてお知らせします。この分析結果を踏まえて、全教職員で児童の学力をさらに伸ばせるよう努めてまいります。

今後とも、児童の学力向上とより良い学習習慣の定着のために、ご家庭のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

１　学力調査の結果について

国語科は、全国平均とほぼ同程度でした。その中でも、「言語の特徴や使い方に関する事項」において優れていました。一方で、示された条件を全て満たして記述することや、キーワードを見つけ出し、それを比較して適切なものを選択することなど、「思考・判断・表現」に関する問題においては苦手傾向が見られました。

算数科は、全国平均とほぼ同程度で、「測定」の領域に関する問題がよくできていました。しかし、「単位量あたりの大きさ」を比べる問題や「割合」に関する問題、二次元の表から条件に合う数を読み取る問題では、題意を的確に捉え、それをもとに論理的に課題を解決する力において課題が見られました。

２　学習状況調査の結果について

「朝食をきちんと取る」「決められた時刻に就寝・起床している」という項目で肯定的な回答が多く、昨年度同様、ほとんどの児童が規則正しい生活が送れていることを示す結果となっています。また、「学校に行くのは楽しい」「地域や社会をよくするために何かしてみたい」「自分には良いところがある」「人の役に立つ人間になりたいと思う」などの項目でも肯定的な回答が多く、学校での人間関係の良好さの現れであり、家庭や地域で多くの方々から支援を受け、前向きで素直にがんばる神野っ子の特徴となっています。

一方で全国的に減少傾向と懸念されている「読書量」については本校も同様であり、長時間ＳＮＳやネット動画を視聴している割合が増加傾向にあることとあわせて注意が必要であると感じます。

３　今後の取り組みについて

＜学力面＞

朝の学習時間や家庭学習を活用し、漢字を含めた国語科の基礎的な言語事項、算数科の計算や用語等について繰り返し復習し、基礎知識のさらなる定着を図ります。

また、目的をもって文章を読み、必要な情報を見つけ出したり、情報と情報がどのような関係にあるのか考えたり、考えを正確に説明したりする力を育成するための授業改善に取り組んでまいります。

＜学習状況面＞

今後も継続して友達との絆や規則正しい生活リズムを大切にしながら、読書時間を確保したり、学習したことを生活で活用したりする等、家庭での学習の機会を増やしていくための取り組みも進めていきたいと思います。ご協力よろしくお願いいたします。